

2023年

図書館だより 12月



〒855-0036 島原市城内一丁目1202 島原図書館 TEL 0957-64-4115

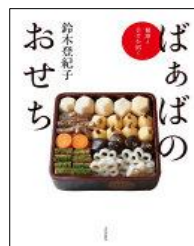


11月のとしょかんまつりにはたくさんの方々に参加いただきありがとうございました
引き続き12月も手作り講座「クリスマスのキャンドル作り」や子どもたちの映画会も開催いたします。
ぜひご参加ください。また、特集コーナーには、年末年始に役立つ本、来年の干支「辰」にちなんだ本も
もっています。こちらもぜひご利用ください。
寒さも本格的になってきました。体調管理に気をつけながら、年末の慌ただしさを乗り越えましょう！

今月の特集コーナー

年末年始に役立つ本

年末やお正月に役立つ本を集めています。
ぜひご活用ください。



手作り講座

クリスマスの キャンドル作り

講師 小田 美和 先生 (リーフシャワー 店長)

ドライフラワーを入れて、クリスマスキャンドルを作ります。大人の方はもちろん、親子での参加もOKです

日時：12月9日(土) 13:30~

場所：島原図書館 視聴覚ホール

対象：小学生(保護者同伴)~大人

定員：10名(申込制)

参加費：1,300円

もってくるもの

・タオル、はさみ、エプロン



令和5年度 郷土史を学ぼう会

日時 12月23日(土) 午後2時

場所 島原図書館視聴覚ホール

内容 ①「史料から描く、島原城籠城」
—島原の乱、小説と史料の距離(2)
内嶋 善之助先生

②上木場文書 松尾 卓次 先生



12月の行事予定

※令和5年11月30日(木)現在の予定です。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 おはなしのじかん 11:00
3	4 休館	5	6	7	8	9 子ども向け映画会「おじゃる丸」 10:30(申込制) 手作り講座「クリスマスのキャンドル作り」 13:30(申込制)
10	11 休館	12	13	14	15	16 クリスマスおはなし会 11:00 文連読書会 13:30
17	18 休館	19	20	21 おはなしのじかんQ1.2 11:00 句楽会 13:00	22 さくら読書会 10:00	23 おはなしひろば 11:00 郷土史を学ぼう会 14:00
24	25 休館	26	27	28 資料整理日 (休館)	29 休館	30 休館

年末年始の休館日

12月28日(木)から

令和6年1月3日(水)

までお休みです。

(28日は資料整理日です。)

休館中の返却は玄関横の

返却ポストをご利用くだ

さい。



31

休館





新 刊 案 内



●デウスの城

伊東 潤／実業之日本社

天下分け目の関ヶ原の戦いに西軍で参陣した小西行長の小姓・彦九郎と善大夫、そして肥後の地で守りにつく左平次。彼らは幼馴染の若きキリシタン侍だった。敗れて主家を失った三人はそれぞれ全く別の道を歩むことに。やがて、激しい弾圧と苛政に苦しむ島原・天草の民が、奇跡を起こす四郎という名の少年の下に立ち上がった。この地で、三人は立場を変え、敵同士となり再会を果たすことに。魂震わせる大河巨篇。

●こちら空港警察

中山七里／KADOKAWA

成田空港でGS(グランドスタッフ=空港業務スタッフ)として働く咲良は人気の芸人の帰国を知り、芸能人を間近で見れることにワクワクする。しかし、ゲートに現れた人気芸人・瀬戸は空港警察に先月から着任したばかりの仁志村賢作に身柄を確保されてしまう。普段から、「役立たず」と陰で言われている空港警察の行動に驚く咲良。仁志村は意外なモノに着目し、瀬戸を追い詰め始める。

●真夜中法律事務所

五十嵐 律人／実業之日本社

それは暗い夜のことだった。
検事である僕・印藤累(いんどう るい)は、夜道に立ち尽くす幽霊の存在に気づいた。
動揺する僕の前に現れたのは「案内人」を自称する親しげな青年・架橋昂(かけはし すばる)。
彼はこの世に未練を遺す幽霊を、ある場所に導くというのだ。それは、真夜中にだけ開かれている弁護士事務所。その名は「深夜法律事務所」という。

●台北アセット 公安外事・倉島警部補 今野 敏／文藝春秋

警視庁公安部外事一課の倉島は、台湾の警察から研修の講師を務めるよう要請され、ゼロの研修から戻った後輩の西本と台北に向かった。
そこで倉島は、サイバー攻撃を受けた日本企業の現地法人から捜査を要請されるが、その会社のシステム担当者が殺害され、日本人役員に疑いの目が向けられる。サイバー攻撃と殺人事件は連動していると直観した倉島は、公安のオペレーションとして正式に捜査に乗り出す。

●^{しょうらい}松籟邸の隣人

宮本 昌孝／PHP 研究所

明治時代の湘南といえば、大磯だった。この地には、明治20年代後半から、伊藤博文、大隈重信、陸奥宗などの大物政治家や、岩崎弥之助など経済人が別荘を建て、そこを目指して多くの人が集まるようになった。茂が少年時代を過ごした吉田家の別荘は、父・健三によって「松籟邸」と名付けられていた。この地をこよなく愛し、後に宰相となる少年・吉田茂と、謎の隣人・天人(あまと)の二人が、別荘地で起きる様々な事件を解決していく連作活劇ミステリー。

●^{たこあし}蛸足ノート

穂村 宏／中央公論新社

胃カメラの飲み方を褒められ、似合わない服装に赤面し、おばちゃんの会話術に学ぶ。日常に予期せぬ笑いや魔法が絡みつくエッセイ集。読売新聞人気連載がついに書籍化。

●^{くすかご}思い出の屑籠

佐藤 愛子／中央公論新社

著者が生まれてから小学校時代まで、両親、姉、時折姿を現す4人の異母兄、乳母、お手伝い、書生や居候、という大家族に囲まれた、甲子園に近い兵庫・西畑の時代を、思い出すままに綴る。『血脈』など、著者の自伝的作品では触れられることのなかった秘蔵のエピソードが満載。幼い「アイちゃん」目線で、“人生で最も幸福だった時代”の暮らしぶり、人間模様を活写する。

●愛しの純喫茶

甲斐 みのり／オレンジページ

珈琲を味わう、空間に浸る、あまいものを楽しむ。み、食事がおいしい…。旅先、散歩の途中、日常で訪れた、主に東日本の喫茶店を厳選して紹介する。

●暮しの手帖のシンプルレシピ

暮しの手帖出版部

簡単だけど、手抜きじゃない。少ない材料と手順で作る料理から、ほうっておいておいしくなる料理、あると助かる作り置き料理まで、「シンプルだからこそおいしい」レシピを紹介します。

●自分のために料理を作る 自炊からはじまる「ケア」の話

山口 祐加／晶文社

誰かのためにだったら作れるけれど、自分のために料理ができない。そんな6人を著者が3カ月間「自炊コーチ」し、精神科医と共に気持ちの変化や発見についてインタビューし、自炊の効用を探る。レシピも収録。

ホームページからも本の検索が出来ます。お知らせ等も記載しておりますのでぜひ、ご利用ください。

島原図書館・有明図書館のHP アドレス <https://www.shimabara-city-libraries.jp/>

図書館東側駐車場 10台(うち、軽自動車3台)、西側に身障者専用駐車場1台、新生病院横駐車場21台が利用できます。
土日祝日のみ、島原振興局駐車場も利用できます。ぜひご利用ください。